

タヒチヌイトラベル発

2014年8月29日発信

イアオラナ！現地旅行社タヒチヌイトラベルが発信する、タヒチのプチ情報です。

みなさまこんにちは！

先週お伝えした通り、海上自衛隊の練習艦隊がタヒチに寄港しました。日曜日には艦隊の一般公開があり、多くの人々が日本の自衛艦を見ようと訪れました。公開されたのは練習艦「TV-3518 せとゆき」です。



「せとゆき」は、現在でこそ練習艦隊に配備されていますが、もともとは護衛艦として建造された艦で、2010年には皇室（寛仁親王・彬子女王）と対外王室に対して「戦後初めてのお召し艦」となった、由緒ある自衛艦です。

写真のように、パペーテ港が小さいため護衛艦「DD-151 あさぎり」に横付けされて停泊していたので、「あさぎり」経由で「せとゆき」に乗り込むという、(おそらく)マニアには垂涎の配置です。艦上では、実際に「せとゆき」に着任している自衛隊員が案内してくれました。

残念ながら公開は甲板のみでしたが、大砲やミサイル発射機など本物の迫力に触れることが出来ました。これがまた、外から見るのと間近で見るのとで大違い！「こんなに大きいのか！」と見学者はみんな驚いて、記念撮影をしていました。兵器には英語と日本語での解説が展示されていて、実際に発射している瞬間の写真もあり、迫力満点の一般公開でした。



「せとゆき」後方の甲板にて



船首部に鎮座する 62 口径 76mm 単装速射砲

一般公開前夜には、停泊中の港の広場でイベントがありました。

隊員による刀を使った剣道の型の披露や、海上自衛隊の音楽隊による無料コンサートがありました。音楽隊はタヒチの歌「IAORANA（こんにちは）」も演奏し、大きな拍手が湧き起こりました。

また、艦隊がライトアップされて華やかにタヒチの夜を飾りました。

昨今いろいろと議論の尽きない自衛隊ではありますが、隊員の皆様はとてもさわやかで、一人一人が国を守るという意識のもと遠く日本を離れて訓練している様子に、心動かされるものがありました。日本へ帰還するのが10月末とのことで、それまで（そしてそれ以降も）お体に気を付けて頂きたいと思いました。

それではみなさま、ごきげんよう。

